付加疑問文の復習

|  |  |
| --- | --- |
| 形 | 意味 |
| ① 肯定文(＋), 否定の疑問文(－) | ～だよね？ |
| ② 否定文(－), 肯定の疑問文(＋) | ～じゃないよね？ |
| ③ 命令文 〜 , will you? | 〜してくださいね？ |
| ④ Let’s 〜 , shall we? | 〜しましょうよ？ |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※念押しして、確認するときに使う。

例文

|  |
| --- |
| ① 形: 肯定文(＋) 　　　　　　　⇒　　　　 否定の疑問文(－)  例文: Jun is a teacher , 　　 ⇒　　　　　　isn’t he?  　 意味: ジュンは先生です。 ⇒　　　　　 だよね？  ↪︎ ジュンは先生だよね？ |
| ② 形: 否定文(＋) 　　　 ⇒　　　　 肯定の疑問文(－)  　 例文: Jun is not a teacher , 　 ⇒　　　　　　is he?  　 意味: ジュンは先生ではありません。 ⇒　　　　　 だよね？  　　　　↪︎ ジュンは先生じゃないよね？ |

**「命令文」「Let’s 〜」の付加疑問文**

「命令文」「Let’s 〜」の付加疑問文は、例外として以下の２つを覚えて下さい。

* **命令文＋〜, will you?**

意味：　「〜して下さいね？」

例文　Open the door, will you? ドアを開けてくださいね！

　　　　Turn on the light, will you? 明かりをつけて下さいね！

付加疑問文として、”will you”を付け加えることで念をおして、「お願いしますね！」という意味になります。○ **Let’s 〜＋〜, shall we?**

意味：　「〜しましょうよ？」

例文 Let’s play tennis, shall we? テニスをしましょうよ？

練習 以下の下線部に英文を入れて、付加疑問文を完成させてください。

例: Jun is a teacher , 　 isn’t he?

ジュンは先生ですよね？

(1) Jun is a doctor（+）,　　　　　　　 isn’t he?（−）(ジュンは医師ですよね)

(2) You didn’t bring a pencil case（−）, 　　　　 　　 did you?（+）(あなたは筆箱を持っていきませんでしたよね)

(3) The dinner was nice（+）,　　　　　　　　　　 　 wasn’t it? （−） (夕食は素晴らかったですよね)

(4) You already knew that（+）,　　　　　　　 didn’t you? （−） (既にそれを知っていたでしょう)

(5) You can do that（+）,　　　　　　　 can’t you? （−） (それをできますよね)

(6) They aren’t rich（−）, 　　　　　　　　 are they? （+） (彼らはお金持ちではありませんよね)

(7) The girl doesn’t like us（−）, does she? （+）(あの少女は私たちを好きではないですよね)

(8) Jun can’t ski（−）, can he? （+） (ジュンはスキーができませんよね)

(9) Open the door , will you? (ドアを開けてくださいね?)

(10) Turn on the light, will you? (明かりをつけて下さいね?)

(11) Let’s play tennis , shall we? (テニスをしましょうよ？)

* 半分に折って、一瞬で付加疑問文の文が答えられるように練習しましょう。